

国際ロータリー第2790地区  
第6分区 ロータリー情報研究会

報告書

日時 2010年10月26日(火曜日)

場所 東金文化会館 展示室

東金ビューロータリークラブ

ガバナー補佐 小川秀二

補佐幹事 前嶋康夫



国際ロータリー第 2790 地区  
第 6 分区ロータリー情報研究会

日時 2010 年 10 月 26 日

場所 東金文化会館

〒283-0801

千葉県東金市八坂台 1-2107-3.

TEL 0475(55)6211 FAX 0475 (55) 6216

司会 前嶋康夫

式次第

1. 点 鐘 (13:00) 第 6 分区ガバナー補佐 小川秀二
2. 国家斉唱
3. ロータリーソング (奉仕の理想)
4. ホストクラブ会長挨拶 東金ビューロータリークラブ会長 関口昌秀
5. 職業奉仕委員長挨拶 土屋亮平パストガバナー(松戸RC)
6. クラブ研修委員長 海寶勘一(千葉西RC)
7. 地区委員紹介 第 6 分区ガバナー補佐 小川秀二
8. 開催趣旨説明 第 6 分区ガバナー補佐 小川秀二
9. 卓話 地区委員 地区職業奉仕委員会 クラブ研修委員 山下清俊(市川東RC)
- 休 憩
10. グループディスカッション 「私達は何故週一度ロータリーに集うのか」
11. グループ代表発表
12. 総評 第 6 分区ガバナー補佐 小川秀二
13. 点 鐘 (15:30) 第 6 分区ガバナー補佐 小川秀二

タイムスケジュール

登 録 開 始	11:30
食事(各テーブルにて)	12:00
テーブルリーダー打合せ	12:45
R情報研究会	13:00~15:30



## ホストクラブ会長挨拶

会長 関口昌秀

本日は第六分区情報委員会に大勢、お集まり頂きありがとうございます。

地区の役員さんをはじめ、分区の役員さんが今日の情報委員会のために大変な御苦労重ねられ今日に至りました。大変、御苦労様でございました。

さて今日の目的は「私たちは何故週一度ロータリーに集うのか」という表題でロータリーの原点を新たに皆様にお考えになって頂く事です。

私もホストクラブの会長として御挨拶するのに真剣にこの表題について考えさせて頂きました。

私が思うにはロータリーとは限らず、国、会社、人間の集団とは限らず、動物や昆虫、細菌などの微生物の集団なども物理的に捕食、防衛など目的、意図、意思に寄り集まり、進化成長するという活動、運動が本能にあり、それに合わせた集団を形成する、波長の近いものが集まる。その集団の形成する個々の都合により集まる。それには絆と言う情報が不可欠であると思います。人間個人の多様な価値観を摺り合せ、同じ価値観を共有し、ベクトルに合わせ、運動し成長する。週一度ロータリーに集う目的はその為の確認を踏まえ、情報を共有し、ベクトルを合わせる為の調整し、綱領や細則を踏まえた上で、クラブの物差し作りをして、ベクトルを合わせクラブとして進化成長する為だと思いました。

今日はお時間の許す限り、御討議願いたいと思います。簡単ですが歓迎の挨拶とさせて頂きます。本日はありがとうございます。

## 委員長挨拶

国際ロータリー第2790地区第6分区ロータリー情報研究会の閉会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

本年度のロータリー情報研究会は、小川秀二ガバナー補佐様のご指導の下、前嶋康夫ガバナー補佐幹事、関口昌秀・東金ビューロータリークラブ会長様を始めとする第6分区の皆様のご協力を戴き、情報研究会がこのように立派に終えることができましたことに対し、衷心より感謝申し上げます。

さて、本年度の織田ガバナーは、5大奉仕部門の内、職業奉仕が最も理論的であり、倫理的であると結論づけられました。そのような観点から、今後益々増えることが予想されるであろうRIからの提示、並びに案件につきまして、各クラブがそれらについて、独自に、その是非の判断を下す必要性が想定されます。それ等に対応すべく、各クラブの職業奉仕委員会の中に『クラブ研修委員会』を設置することを要望され、常日頃から研鑽を積んで頂きたいと、断つての要請でございます。

特に織田ガバナーは、今年度、各分区毎に開催されますロータリー情報研究会を地区の職業奉仕委員会が担当するように指示され、テーマも「私たちはなぜ週一度ロータリーに集うのか」と示され、「出席なくしてロータリーなし」と言いますが、出席の重要性を再確認して、真のロータリーライフを構築して頂きたいとの思いと拝察致します。

“出席と申しますと、これはクラブ奉仕の分野ではないのか？”、“今更そんな当たり前のことを議論するのか？”等のご意見も聞きますが、ロータリークラブの定例会は、些か異にします。例会と言っても一連のセレモニー、食事、卓話、それ以外にロータリーの例会にはもっと深遠なものが存在しなければなりません。それを本日掘り採って頂いたと思います。それこそが、職業奉仕を理解する上での大前提であるからであります。

第6分区のロータリアンの皆様、今日の研修会は皆様にとってのロータリー情報研究会でありました。

敢えて言わせて頂ければ、地区職業奉仕委員会の任務は、職業奉仕への道案内に過ぎません。

どうぞ今日された活発なるご討議をクラブに持ち帰って頂き、楽しく、実り多いクラブ例会になりますことを期待致します。

混迷する社会で生き残る道は、唯一、職業奉仕の実践『大道無難』に尽きます。

2010-10-26

地区職業奉仕委員長

土屋 亮平

## 委員長挨拶

第6分区9クラブの皆さまこんにちは。

只今ご紹介を賜りました、地区職業奉仕委員会に属し、クラブ研修委員会の委員長であります、千葉西ロータリー・クラブに所属する海寶勘一です。

只今は6分区小川秀二ガバナー補佐さんと、関口昌秀東金ビューRC会長さんのご挨拶にもありましたが、今年度は織田ガバナーからスタイルを磨こうという地区テーマを頂き、そのためには職業人としてのロータリアンの基本である職業奉仕をよく理解をして、一層ロータリーライフを有意義にさせていこうと、委員会活動がスタートをされております。

再度の御説明になりますが、各14分区でロータリー情報研究会を開催して頂き、分区の皆さまのグループ討議において、「私達はなぜ週一度ロータリーに集うのか」のテーマをもって、自由闊達なグループ討議をして頂きたいと思っております。

土屋地区職業奉仕委員長さんが、いつも口癖に申される言葉は、ロータリーの職業奉仕をもっと簡易に受け止めて、ご自身が日常携わっている事業経営の理念や姿勢そのものを、例会で集う仲間とともに自己研鑽をすることです、と仰っております。

毎週の例会では、形式や形骸化されたことだけではなく、もっと活発な会員同士の交流をもって、研鑽や修練や感化をしあうことができるようにしたいものです。

これから山下清俊地区委員の卓話を参考にされて、是非とも意義のあるグループ討議をして頂ければ幸甚ですし、先ずはご自身の事業繁栄に結びつけて一層の職業奉仕の心を磨いてほしいものです。

最後になりましたが改めまして、第6分区のロータリー情報研究会を設営して頂きました、小川秀二ガバナー補佐さんと前嶋康夫補佐幹事さん、東金ビューロータリー・クラブ関口昌秀会長さんには多大なご支援を賜りましたことに、心からの感謝と御礼を申し上げます。

ご理解とご尽力をくださり誠にありがとうございました。

2010-10-26

国際ロータリー第2790地区

地区クラブ研修委員会委員長

海寶勘一(千葉西RC)

## ロータリー情報研究会主旨説明

第6分区ガバナー補佐 小川 秀二

本年度は織田ガバナーのもと綱領を基本とした職業奉仕を中心に活動を進めております。そこで、皆様方が週に一度集まっておられます例会について職業奉仕の観点から皆様と一緒に考えてみたいと思っております。

『私達は何故週一度ロータリーに集うのか』をテーマとして討論し、このロータリー情報研究会が例会における職業人としての誇りと価値をもう一度見直し有意義なクラブ活動になる起爆剤となれば幸いと存じます。各テーブルにてディスカッション・発表としていただく内容となっております。宜しく願い申し上げます。

### ロータリー情報研究会卓話(第六分区)

テーマ「私たちは何故週一度ロータリーに集うのか」

2010-11 地区職業奉仕委員会クラブ研修委員

市川東ロータリークラブ 山下 清俊

[00] 只今ご紹介いただきました地区職業奉仕委員会クラブ研修委員の山下と申します。市川東ロータリークラブ会員で職業分類は写真工業です。クラブ入会が2007年3月ですので、まだクラブ歴3年半という新米ロータリアンです。

本日、当分区の小川ガバナー補佐さん並びに東金ビューロータリークラブ関口会長さんには「ロータリー情報研究会」を設定していただき、誠にありがとうございました。改めて厚く御礼申し上げます。

[01] 今年度、織田ガバナーからは、土屋良平パストガバナーが主管する地区職業奉仕委員会に所属いたします、私たち地区クラブ研修委員会に対して、各分区毎に行われる「ロータリー情報研究会」にて、討議テーマ「私たちは何故週に一度ロータリーに集うのか」について、分区の皆様のお手伝いをするようにとの使命をいただきました。先ほど小川ガバナー補佐さんがおっしゃられた通りでございます。

本日は、まだロータリー歴が浅い私がこのテーマで卓話をさせていただくことになりましたが、私自身皆様に「こうあるべきです」とか「集う」のはこういうためです」といったようなお話ができる立場ではございません。そこで、ロータリーへの入会前後から今日までの日常を振り返って、報告させていただき、後のグループ討論のきっかけにさせていただければと思っております。

[02] さて、このテーマですが、クラブ歴が長い方にとっては「何で今このテーマで？」と思われる方、また「週に一度」が完全に習慣になっていらっしゃる方も多いとは思いますが、「週に一度集う」というのは私にとって実に大変なことでした。

[03] 私は市川東ロータリークラブに所属しております。先代である父は長らく市川東ロータリークラブにお世話になっておりまして、2006年当時当社の会長でしたが、ロータリアンのまま亡くなりました。私はその翌年にお誘いを受け、入会したのですが、入会するか否かで一番悩んだのが、「毎週出席できるかどうか」でした。

実は父が亡くなる直前、本社機能を市原市に移すことを決定し、その直後父が他界いたしました。その年の秋に市原市への移転を行ったばかりでしたので、お誘いを受けた時は自分の業務の大半は市原市にある本社／工場で行っておりました。

従いまして、週一度の例会出席で移動時間も含め約3～4時間を費やすことには、会社の業績が振るわないこともあり、かなり躊躇いたしました。

[04] そんな中、なぜ入会を決断したのかですが、一つには市川東ロータリークラブの会員の方から何度となくお誘いを受け、そのお人柄に触れたこと、二つには母から、「父とロータリークラブの大勢の方々との繋がり」を聞いたことでした。

[05] そして、三つ目には実務的な話ですが、「他クラブでメイクアップ」をすることで例会出席とみなすという制度があることでした。

[06] この三つの理由は今思い返してみると、私自身が今「週に一度ロータリーに集うのか」の理由になっていると思っております。

[07] 一つ目の理由。私をロータリーに誘って下さった会員の方は石材業を営んでいらっしゃいます。実は父の死後、お墓を造って戴いたご縁があります。その時、親身になって私ども遺族の相談にいろいろとのおつて戴き、とてもよいお墓を作って戴きました。そのお仕事ぶりを拝見するにつれ、また、その際お仕事上の信念をお伺いするにつれ、そういう考え方を持たれているのがロータリアンなのだと思いをいたしました。「利他」の精神で経営をされていることがよくわかりました。

[08] 私は、亡き父もそういう考えを貫いた人だと思っておりますが、そういう方々の集まる例会に出席することで自分自身が高められる期待を持ちました。

[09] 二つ目の理由。ロータリーに入ると、多くの方々と知り合えるだろうことは、社長を継いで約4年とまだまだ新米であった2007年当時、非常に貴重なものに思いました。実際入会してから、ご推薦をいただきました会員をはじめ、多くの方々と知り合え、お話が出来、自分自身を磨くことが少しずつではありますが、出来ているのかなと思っております。その知り合うきっかけが例会であったことは間違いありません。

[10] 「深く交わるにはお互いをよく知ることから」だと思っておりますが、私の場合、この3年半を振り返るとまだあまり多くの方と「深く交わってはいない」と思っております。ですが、少なくとも広く知りあえるという第一歩は始めることが出来ておりますので、ここについてはもっと長い目で見ていこうと自分自身としては思っております。

[11] 昨年度、私はクラブのプログラム委員長で多くの方のお力をお借りしました。多くの会員の方に「例会に出席してよかった」と思っていただけの内容とするという高邁な理想からはかけ離れて、とにかく例会で穴をあけてはいけないとの思いが先行し、自分で何とかしないといけないという焦りがある中で、実行力の伴わない一年でしたが、逆に会長はじめ多くの会員の方から、ご提案をいただき、実行していただき、感謝をしております。ゲストスピーカーの方、会員の方いずれも卓話ではその職業に誇りをもっていることが感じられる内容であったかと思っております。そういう卓話をお聴きすると、自らを振り返って「自分だったらどうだろうか」と考えるだけでも自分が一歩高まったように感じたものです。

[12] 例えば、つい最近白鳥PGからポリオの卓話をお聴きました。会員個々にいろいろな啓示をいただいたことと思っておりますが、私は白鳥PGがその現場に行って自ら実行する「行動力」に感服いたしました。信念があるからこそできることですし、自分も少しでも近づきたいと思ったものでした。

[13] こういった卓話や会員との会話からいろいろ学べるということは、自クラブの例会に限った事ではありません。他クラブへの例会でメイクアップする場合でも全く同じであると思っております。

理由の3番目に挙げた「メイクアップ」の件ですが、現実的にはこのおかげで私は100%出席を保っております。例えば昨年度数えてみましたら、全部で20回のメイクアップをしておりました。第一分区内はもとより、会社近くの市原中央ロータリークラブや少し離れた八王子北ロータリークラブまで、いろいろなクラブに出席させていただきました。こういったメイクアップの多用については賛否があろうかと思っておりますが、私自身の現実を正直に申し上げれば、メイクアップで出席率を稼いでおります。

さて、メイクアップですが、それぞれのクラブにはそれぞれの雰囲気があり、会の進行や、会長挨拶の内容も様々ですが、どこへ伺っても必ず得るものがあります。卓話だけに限らず、意見交換や休憩時間の雑談の中から得られることも多々ありました。

[14] 八王子北ロータリークラブは平均年齢が54歳と若いクラブでした。例会は活気に満ちあふれ、いろいろな奉仕活動も活発な様子が伝わってきました。また直近では、9月16日に東金ビューロータリークラブの例会に出席させていただきました。これはメイクアップというより本日の情報研究会の事前打ち合わせでお伺いしたのですが、その打合せに先立ち、海宝委員長とともに例会に出席させていただきました。関口会長が会長挨拶の中で含蓄のある会長挨拶をされていました。またそのお話しに対して会員の方々が和気藹々の対応をされている様子が伝わり、温かい感じを受けました。

[15] 以上、メイクアップを含め、例会出席は少なくとも私にとってはとても有意義であり、入会前の迷いは吹っ切れていることを改めて皆様にお伝えいたしました。

[16] 話は変わりますが、当クラブ例会でいつも唱和している「四つのテスト」についてお話をさせていただきます。

「四つのテスト」は文面としては入会前から知っておりました。市川に本社事務所があった当時この文面が額縁に入って飾られていました。先代父からこのことについて直接教えを受けたことはありませんが、今では毎週唱和しておりますので、頭にそして心にこの「四つのテスト」が染みこんでおります。

[17] 今となってはいつ頃からかはっきりしませんが、最近、仕事上の判断基準にこの「四つのテスト」を用いている自分に気付きました。

社内の通勤手当の支給基準について総務のリーダーと議論した時のことです。私はそれまでの支給基準から移行する新基準への移行するに当たって変化の公平性を考え、彼に私案を話しました。一方彼は新しい基準そのものが公平であるかどうかという観点で提案をしてきました。その時は私の案でいったん押し切りましたが、今一度「真にみんなに公平なのはどちらか」と改めて考え直しました。結論は彼の提案の方がよいと思いなおし、彼にその旨伝えました。

[18] 「みんなに公平か」というフレーズ、簡単なようで難しいのですが、少なくとも知らず知らずそういう観点で考えている自分そして社員はロータリーの「四つのテスト」のおかげである感謝している次第です。門前の小僧ではありませんが、これも週に一度例会に出席して「四つのテスト」を唱和しているのおかげであると言えると思っています。少しずつ身についてきているのでしょうか。

[19] さて、本日のテーマ「なぜ週一度ロータリーに集うのか」皆様それぞれのお考えがあるとは思いますが、今回の情報研究会では広く「なぜ」と問うと同時に「職業奉仕」の観点でも討論をお願いいたしたく存じます。ありがとうございました。

## ■ディスカッション

### ☆ Aグループ

参加者14名

- ① あなたにとってロータリーの例会はどのような意味を持っていますか？(現状認識)
- ・ 会員の皆様に週一度会う。
  - ・ ホットする時間である。
  - ・ 週一度、卓話を聞くことで自分と違った職業の方々との出会い、知識として身につく。
  - ・ 仲間と会うことが楽しい。
  - ・ 義務(約束事)であるから出席する。
  - ・ 出席する事が自己研修である。
  - ・ 週一回会員同志が共感を共にし、集会を持って簡単に考えるとそれなりに友好の契を深めていけると云う事ですが、然し人生に於ける生き方が如何にあるべきか、その真味が知らず知らずの内にその人の人生の在り方が有意義に展開し するという事が例会であり人間形成に最適の会であると思う。
  - ・ 1週間に一度会員と会い、世間話や卓話を聞き、人生訓など勉強の場となる。
  - ・ 仲間との出会いを楽しみにしている。他の職を聞いて自分の職業に見直し等ができる良い機会である。
  - ・ 一週間の中でスケジュールに印がつく(義務)事は良い事である。
  - ・ 例会に出席する事は義務だと思っている。厳肅に和やかに一時間過ごすことができ、いろんな人と知り合える場である。
  - ・ 新たな知識、情報を知る事ができる、見識を広げていける、異業種の方々との進行を持つ事ができる。
  - ・ 例会は自己研鑽の場だと教えられている。例会に出席していく事で様々な勉強をし、少しずつロータリーを理解していけるのだと思っている。
  - ・ 親睦と奉仕。分かち合いの場である。
- ② 本年度のロータリー活動の根幹は職業奉仕です。例会と職業奉仕の実践の結びつきについてどう考えますか？(例会運営)
- ・ 例会を通じ会員の職業が社会でどのように役立っているかを知ることができる。
  - ・ ロータリーの原理、原則を理解して、例えば「四つのテスト」をよく理解し、職業奉仕すればよい仕事ができると思う。
  - ・ 職業(仕事)に身を入れることで悩みを解決するヒントを得ることができる。
  - ・ 小・中学生の職場体験を積極的に受け入れる。
  - ・ 自社が役立つ事を受け入れている。
  - ・ 地域の小学生に80才の体験をしていただいている。
  - ・ 「四つのテスト」を基準に職業生活をする。
  - ・ 人生において少しでも社会のために貢献できる生活・日常活動は誰しも望む処であるが、夫々の職業を生業を真面目にやっていくことが勿論であるが、その努力によって得た成果の何分かを社会の為、御手伝できるということそれが正にロータリー生活ロータリー活動の真意であり職業奉仕の実践そのものである。一体的なものである。



- ・ 自分の生業を生真面目に勤める。余力を残して社会に奉仕する。
- ・ 職業を通して地域社会に対し、奉仕とまた自社の社員を大切にすることが大事 異業種集まりゆえ本音も言える。
- ・ 仕事を通じて社会に奉仕する。お客様に喜んでもらえているか、お客さま全員に公平か、それは常に考えている。例会において全員卓話、外部の人の卓話を聞くことで学べると思う。
- ・ 例会と職業奉仕の結びつきについてはよく分からないが、ひとつ言える事は異業種の方の卓話を聞いたり接する事は自己研鑽になる、仕事と違い楽しみでる。
- ・ 四つのテストに基づいて行動する事で職業を通じて地域奉仕や社会への奉仕に繋がっていく。

③上記を踏まえて例会はどうあって欲しいと思いますか？(例会運営)

- ・ 参加を楽しみにしている。
- ・ 会員相互の人となりに接する。
- ・ もっとロータリーの原理原則を前面にだして勉強したい。
- ・ 規律のある中で、楽しい例会
- ・ お互いに刺激しあい自己のレベルアップの場であってほしい。
- ・ 楽しく例会をやきましょう
- ・ ロータリー活動ロータリー生活の根本は毎週の例会にあると言う事は衆知のことだが、あまり固くならず本音の話し合いの下、楽しい例会でありたい。
- ・ 自己研鑽の場であり、例会に出席するのが楽しみ、待ち遠しいと思えるような例会でありたい。
- ・ 会員卓話を多く聞きくことにより、お互いを知りロータリーの基本であります親睦を深めることが出来る。
- ・ 例会は厳粛で楽しくなければならない。
- ・ 会員の卓話も充実して会員相互の連帯感を高めていきたい。
- ・ ロータリーは社会学である

■ディスカッション

☆ Bグループ

参加人数

①あなたにとってロータリーの例会とはどういう意味を持っていますか？(現状の認識)

- ・ 例会に出席することにより、会員の皆さんと色々な話をする事ができ情報交換の場となる。
- ・ 職業を通じて皆さんの職業を分かり合う事によって、自分の職業の更なる発展に繋がる。
- ・ 欠席の無い例会にしたい。
- ・ 出席する事により自己研鑽ができる。

②本年度のロータリー活動の根幹は職業奉仕です。例会と職業奉仕の実践の結びつきについてどう考えますか？(例会運営)

- ・ 様々な職業を通じて自分の職業をより明確に把握することができ、自分の職業を通じて社会奉仕ができる。
- ・ 例会にでることで、より良い社会奉仕ができる。

③上記を踏まえて例会はどうあって欲しいと思いますか？(例会運営)

- ・ 新しい会員が飽きてしまわないような楽しい例会作りを目標にし、会員増強が盛んになれば良いので

はないか。

- ・ 退会防止に結びつくような楽しい例会作り

## ■ディスカッション

### ☆ C グループ

#### 参加人数

①あなたにとってロータリーの例会とはどういう意味を持っていますか？（現状の認識）

- ・ 会員として出席し責任を果たすと共に自己研鑽の場と捉えてる
- ・ 100%出席
- ・ 情報交換の場。知らない事を聞く場。気分転換ができる。話題を提供できるよう努めている。例会後のお茶会も楽しい。
- ・ 週一回例会に出席し異業種の仲間と食事をしながら情報交換ができる。
- ・ ロータリアンとして出席する事は義務。メンバー間の情報交換する場、又、友情を深める場。
- ・ 頭のリフレッシュの場。同じたち目線で様々なことを考え実践実行してみたい。自らの職業観の昂揚が大事。
- ・ 週に一度、性別、世代を超えて他業種の方のお話を聞く事により自分の職場（環境）の中で考えていた狭い考え方をリセットすることができる場。
- ・ 例会に出席し自己研鑽する場所であり情報交換や自分自身のためになるのであり週一回の例会に集う。

②本年度のロータリー活動の根幹は職業奉仕です。例会と職業奉仕の実践の結びつきについてどう考えますか？（例会運営）

- ・ 職業人としての人格、品性を高めると共に職業を通じ社会貢献、地域貢献を目指す。
- ・ 職業観の高揚、自己研鑽、職業理念に対する意識づけができる。
- ・ 地域社会に貢献できるか。
- ・ 卓話を聞き勉強になる、自己研鑽。
- ・ 自分自身生活のため、会社があるのであって会社は情報を得る事で仕事は成り立っている。
- ・ ロータリー活動で得る情報が個人・会社で役立つ事が一番のメリット。
- ・ 自己研鑽の場、それぞれ職業奉仕を誠実に実践する事のそれがたとえば町を興し町の繁栄に繋がっていく事だと思うのでロータリー活動の根幹に結びつくと思う。
- ・ ロータリークラブが地域ごとに存在するという事は会員がこれまでの人生の中で得た知識や経験を地域の発展のために還元する事と考える。
- ・ 職業奉仕と例会はなくてはならないロータリーであり今後も長く地域や社会奉仕や職業奉仕に努める。

③上記を踏まえて例会はどうあって欲しいと思いますか？（例会運営）

- ・ 何よりも会員相互の理解と親睦を深める、活性化を計る。
- ・ 全員出席
- ・ 例会場には宝のカギが落ちている。
- ・ 多少でもよいから理念・理想の話があつて欲しい、暗い話題より明るい話題を多くして欲しい。
- ・ 和やかな例会で全員が出席できるように。

- ・ 業種の血が人達の情報交換が多いにできる場であってほしい。
- ・ 欠席しないで出席する事。
- ・ 色々な業種の方々との交流の機会を多く作って欲しい。
- ・ 例会は楽しまなければならない

## ■ディスカッション

### ☆ D グループ

参加人数 13名

①あなたにとってロータリーの例会とはどういう意味を持っていますか？（現状の認識）

- ・ 自己成長の場 自分をリフレッシュしてくれる。
- ・ 非日常の場であり、新たな気づきの場。
- ・ 人との出会いによるチャンスの場。

②本年度のロータリー活動の根幹は職業奉仕です。例会と職業奉仕の実践の結びつきについてどう考えますか？（例会運営）

- ・ 例会を通じての職業倫理の学習。
- ・ 仕事の悩みを相談できる場。
- ・ 職業奉仕を通しての社会奉仕の場。

③上記を踏まえて例会はどうあって欲しいと思いますか？（例会運営）

- ・ 人間力を高める例会
- ・ 仲間同士の憩いの場
- ・ 色々な人の話を聞けるチャンスを増やして欲しい。

## ■ディスカッション

### ☆ E グループ

参加人数 13名

①あなたにとってロータリーの例会とはどういう意味を持っていますか？（現状の認識）

- ・ 人脈作り、情報交換の場として有効。
- ・ 仕事の区切りになる。
- ・ 異業種の集まりなので利害関係なく語り合える。
- ・ 奉仕に対しての勉強の場。
- ・ リラックスや刺激を受ける事ができる場。
- ・ ロータリーのルールの遵守。

②本年度のロータリー活動の根幹は職業奉仕です。例会と職業奉仕の実践の結びつきについてどう考えますか？（例会運営）

- ・ 異業種交流の場。
- ・ 仕事の軌道修正と専門馬鹿の修正。
- ・ 職業奉仕を通じての社会の社会貢献。
- ・ 例会と職業奉仕が結びついているとは思えない。
- ・ 会社経営がしっかりしていないと例会も意味のないものになる。

③上記を踏まえて例会はどうあって欲しいと思いますか？(例会運営)

- ・ 双方向性のコミュニケーション。
- ・ 品格を高める場。
- ・ ロータリーの伝統を学ぶ場。
- ・ プログラムを魅力的に。
- ・ 人の話を聞ける例会。
- ・ 楽しい例会作り。
- ・ 自分の職業が社会に役立っているか計る場。
- ・ 刺激的な例会の開催。
- ・ 規律の中にも和やかな雰囲気 of 例会。
- ・ 新鮮と感動の例会の開催。
- ・ 人と人のつながりが持てる楽しい例会。

#### ■ディスカッション

##### ☆ Fグループ

参加人数 13名

①あなたにとってロータリーの例会とはどういう意味を持っていますか？(現状の認識)

- ・ 父の後継で入会。
- ・ 情報交換の場。
- ・ 例会出席は基本中の基本。
- ・ 職業奉仕を通じて奉仕は自分自身をスキルアップ勘要。

②本年度のロータリー活動の根幹は職業奉仕です。例会と職業奉仕の実践の結びつきについてどう考えますか？(例会運営)

- ・ 職業人であるロータリアンは業界の手本となる。

③上記を踏まえて例会はどうあって欲しいと思いますか？(例会運営)

- ・ プライドを高く持って増強～と言う事ではなくクラブの充実を図る。

#### ■ディスカッション

##### ☆ Gグループ

参加人数 13名

①あなたにとってロータリーの例会とはどういう意味を持っていますか？(現状の認識)

- ・ 親睦と学び、ルーティーン、心のオアシス。
- ・ リフレッシュ、心のふれあい、リセット。
- ・ 異業種交流と情報交換。
- ・ 友情を深める場
- ・ 例会に出席できる事で感謝の気持ちが湧き上がる。
- ・ 例会後のゴルフ同好会が楽しみです。
- ・ ロータリーの目的の再確認と自己研鑽。
- ・ 会長挨拶に興味がある。

- ・ 仲間意識と親睦を深める。

②本年度のロータリー活動の根幹は職業奉仕です。例会と職業奉仕の実践の結びつきについてどう考えますか？(例会運営)

- ・ 四つのテスト 職業奉仕の実践の確認と学び。
- ・ 職業を通じての人格霊格の向上と社会貢献の継続、継承。
- ・ 異業種が集まるので力強い奉仕活動ができる。
- ・ 仕事の安定が家族と社会を幸せに導く。
- ・ 自分の意見や思いを伝える。

③上記を踏まえて例会はどうあって欲しいと思いますか？(例会運営)

- ・ 継続、継承、改善、改革が必要
- ・ 100%出席、着て良かった例会。
- ・ 互いの職業を尊重し、相手を尊いあう集まり。
- ・ 話し合える雰囲気作り。

#### 参加者数

地区委員会 6名

茂原ロータリークラブ 28名

東金ロータリークラブ 14名

大原ロータリークラブ 4名

大多喜ロータリークラブ 5名

成田空港南ロータリークラブ 14名

茂原東ロータリークラブ 5名

茂原中央ロータリークラブ 3名

大網ロータリークラブ 6名

東金ビューロータリークラブ 17名

ありがとうございました。